

**第2回 新潟市西区コミュニティセンター等
指定管理者申請者評価会議 会議録**

1. 開催日時 令和7年10月1日（水）午後2時から午後4時まで
2. 会 場 西区役所 4階 対策室
3. 評価会議委員（五十音順）
 - 乙川 千香 委員（潟東地域コミュニティ協議会 会長）
 - 中村 美香 委員（NPO法人まちづくり学校 事業推進部コーディネーター）
 - 根本 昌幸 委員（新潟税理士法人深滝合同事務所 副所長）
4. 傍聴者 なし
5. 内 容
 - 1 開 会
 - 2 あいさつ
 - 3 議 事
 - 指定管理者申請者の評価について
 - （1）申請書等の説明【非公開】
 - （2）申請者へのヒアリング【公開】
 - ア 坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会
 - イ 西内野コミュニティ協議会
 - ウ 青山小学校区コミュニティ協議会
 - エ 五十嵐小学校区コミュニティ協議会
 - （3）申請者評価【非公開】
 - 4 閉 会

議事 指定管理者申請者の評価について

（1）申請書等の説明【非公開】

事務局より、申請書の評価のポイント等について説明した。

（2）申請者へのヒアリング【公開】

(司会)

初めに、坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会の審査です。説明、プレゼンテーションの時間は10分以内でお願いします。その後、質疑応答に入らせていただきます。それでは、よろしくお願いいたします。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会①)

最初に、坂井輪コミュニティセンターの概要です。地区の中には、五十嵐地区と青山地区を除く5つのコミ協があり、自治会の数で言いますと34自治会、世帯数でいきますと約2万7千世帯となります。運営に携わっている人たちは、私を含めて14名の役員となります。坂井輪コミュニティセンターは来年令和8年の5月に開館40周年を迎えます。地域の皆様に愛される坂井輪地区のコミュニティセンターとして皆様力を入れて活動しています。

施設管理業務につきましては、お手元に日常業務についての資料をご覧くださいことでご理解いただきたいと思います。

そして、今いろいろと値段が上がり、無駄遣いをしないようにということで、3番目に経費節減というところがありますが、これに関しては、必要のない個所の電灯は消灯する、日常的に空調の温度管理を適切に行う、紙の裏紙の再利用など消耗品の消費をできるだけ抑える、この3つに力を入れて経費の節減に努めています。

それから、自主事業ですけれども、毎年定期的に開催しているものを紹介しますと、芸能祭、作品展、ふれあい講演会、親睦の囲碁大会、親睦の麻雀大会、利用者団体との懇談会、AEDを使った取扱いの講習会などを開催していきまして、基本的にはこの会場の利用者の方から実行委員会を立ち上げていただき、事業を毎年開催しています。

それから、サービス向上に向けた取組ですけれども、他のコミュニティセンター、コミュニティハウスと連携を図り、積極的な情報交換を行っています。業務日誌などを常に活用して、情報の共有を図り、センターの管理運営のスキルアップを目指しています。

また、施設の利用者の拡大や利用率のアップを目指すために、情報発信を図り、定期的に広報紙を発行するなど広報活動にも力を入れています。

施設の利用者からの要望と苦情に対する対応ですが、施設の利用報告書に書いてある意見の欄をよく見て、利用者団体の代表者会議を年2回開催しており、利用者の声を積極的に取り上げています。それから、利用者の要望や苦情に関する内容については、必要に応じ西区の地域課へ報告しています。要望や苦情は記録にまとめて、今後の施設運営に反映をさせています。利用料金については、書面の通りです。

安全確保や災害時の対応につきまして、施設内における定期的な巡回などにより事故防止に努めるとともに、万が一事故が発生した場合は、所定の緊急連絡網により、速やかに役員

への報告・伝達を行っています。また、事故の大小にかかわらず、西区地域課への報告を適切に行っています。そして、2番、災害が発生した場合ですが、危機発生時対応マニュアルに従って、利用者の安全を確保しています。資料で提出した坂井輪コミュニティセンターの危機発生時対応マニュアル、資料としては1-9になります。中身の方は最新の状況として資料を作っていますが、表紙の日付が令和2年10月1日となっていますので、この部分を令和7年に訂正をお願いします。

9番の環境保護の取組については記載の通りです。

10番の地域貢献活動については、自治会、コミュニティ協議会の優先利用、およびコミュニティ協議会の利用料金の減免、もう一つは各小中学校の社会見学の受け入れというところとなります。

11番の地域経済振興および雇用確保の取組ですが、地元経済振興のため、市内中小企業への物品の発注や業務委託を行って、地域経済や雇用確保に努めています。

続きまして、従事者の雇用と労働条件ですが、管理人を雇用しまして、センターでの管理運営をこの資料の下記の体制で行いますが、管理人、常勤が3名、そしてローテーションとしては早番・中番・遅番としています。常に1名ないし2名が勤務する体制を取っており、管理人は常勤が3名、臨時1名の4名となっています。

賃金スライドの反映方法につきましては、資料の通りです。14番の個人情報保護の取組についても資料の通りです。ワーク・ライフ・バランス等を推進する取組についても資料の通りです。

ハラスメント防止への取組ですが、ハラスメントや雇用管理の改善等に関しては、労働契約書に副会長を相談窓口として定めています。

収支計画については、皆様お渡ししている資料は、令和6年度の実績ベースですが、一部令和7年度の実績ベースに変更してありますのでご了解ください。私からは以上です。

(司会)

質疑応答の時間に入ります。申請者へのご質問等ございましたらお願いします。

(乙川委員)

私の方から2点お伺いします。5番のサービス向上に向けた取組、また、自主事業の計画の中で、事業の内容などを見ますと、結構ご年配の方向けの事業が多いのではないかと少し気になっています。そこを含めたサービス向上に向けた取組として、広報の仕方について民間機関紙を活用されていると思いますが、それ以外の広報の仕方は何かされているのか、というのが1点目です。

もう1点は、この5番、6番、14番、15番、16番に関連するところで、センター内外で、スキルアップにつながる取組ですとか、ハラスメントへの対応ですとか、そういったものの研修など具体的な取組をされているようでしたら説明いただきたいと思います。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会②)

自主事業については、確かに利用者の関係で高齢者が多いわけですが、その中でまず考えたのは、利用者団体自らが企画・計画をしている自主事業やサークル活動です。例えば、囲碁大会、これは囲碁クラブというものがあります。それから麻雀大会、これも麻雀の利用者がいっぱいいるわけです。それから芸能祭、ふれあい講演会や作品展、これらはすべて利用者団体があって、利用者団体の人も地域の皆さんも巻き込んで行っています。

若い人たちが利用者団体の中に残念ながら少ないものですから、そういう風に見えてしまうのですが、今後は当然その部分も含めて検討していかなければと思っています。例えば、利用者の中身を見ますと、午前の利用者が多いです。午後は少なく、夜間はもっと少ないです。しかし、夜間というのは働いている方々、若い方々が利用しやすいようなことを考えていかなければと思っています。

要は自主事業と言っていますけれども、利用者団体の皆さんと声を掛け合いながら、私ももそこに入って一緒に盛り上げていく、これが今のスタイルです。

広報紙は年2回発行していますが、今後はSNSを使ったりいろいろな方策があると思います。

もう一つは、さっき申し上げた通り、私どものコミュニティセンターは利用者にとってすごく使いやすい場所だと思うのです。それが知られていないんですよ、まだ。例えば、夕方、すぐ終わってからみんなで集まって、そこで夕飯を食べながらサークルをやる。それはオッケーなんです。ところが、それが全然知られていない。

だから、今後はそういったところにPRしていかなければと思っています。やり方としては、広報紙やSNSを使って良い呼び込みができないか考えていかなければと思っています。

ハラスメントについては、受付窓口を会長でなく副会長に特別に指定しています。そういった関係で、第三者機関ではないですけれども、私も直接、私どもの事務局長もそうですし、会長もそうですが、それ以外の人を窓口として作っているところです。

(乙川委員)

基本的な、具体的な取組として、研修などそういったものはされていますか。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会②)

ハラスメントについては、ありません。

(司会)

他に何かありますか。

(中村委員)

利用者の声、要望を紙に書いていただくことが多いとのことでしたが、皆さんと顔を突き合わせて意見をいただくような場面は作られていますか。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会②)

利用者団体の皆さんとの機会は、毎年2回実施していきまして、そこで要望を書きいただきやりとりをします。直に、ある特定の人たちとのやりとりというのは今現在ないですが、いろいろな事業を行うときに実行委員会的なものを組織して、それにより既に皆さん方との輪を作って、いろんな目的に向かって動いています。

今までですと、自主的というよりも、私ども管理人などが先頭に立ってやっていたんです。でもそれだと、他人が作ったものに乗っかる感じになっていましたので、自らいろんな意見を出しながらやってくださいとお願いしています。だから委員会を作って、各団体の代表が一つの事業をやるたびに3〜4回ぐらい集まっています。いろんな意見を交換しながら活動しています。

(中村委員)

その意見の中身を、コミセン利用者といいますか、地域の方にどのような形で告知・周知・報告等されているのでしょうか。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会②)

基本は、決定しますと募集をかける自治会に案内を流します。今回も文化祭、それから「子供の遊び場」というものを作り、10月18・19日の案内を既に行い、募集をかけたり、周囲の自治会にもPRしたりして巻き込んだ活動をしています。

(中村委員)

苦情などの対応についてはどうでしょうか。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会③)

年に2回、利用者団体会議を開き、その中で意見・要望とかを頂戴していますが、普段のサークル活動が終わるとその度に利用報告書を団体の方から提出いただいております。その中で、「今回ここに不具合があった」など、時々年に1回2回くらいはありますけれども、今ほとんどないというのが実情です。ただ、管理人と利用者さんの間の日常会話の中で、「ちょっとここなんか直した方がいいんじゃないの」という程度のご意見はあります。

ただ、年2回の利用者団体会議での最近の苦情・要望というのは、大方が駐車場の利用についてです。坂井輪コミュニティセンターは駐車場がとても少ないので、今56〜57サークルくらいありますが、団体会議でもほとんどは車のことを言われます。ただ、参加されるサークルは全体の3分の2しか会議に出てこれられないので、欠席サークルの方々にも「会議でこういうご意見がありました。」、例えばほとんどが駐車場ですけれども、「駐車場の利用について

はこういう形で、駐車場の利用について皆様をお願いします。」とお願いしています。全サークル会員には周知・徹底といいますか、ご依頼はしているところです。

駐車場に入る車が今20台、マックス18台か20台、詰め込んで20台ですが、みんな早く止めたくて、端から、手前から止めてしまいます。そうすると、奥が空いてしまう状況です。でも、奥の方に入れたサークルが他よりも早く終わると、今度は入れ込んだ車を館内放送で全部呼び出して移動をお願いするんですけれども、そこも含めてご理解をお願いいたしますという形で、できれば「徒歩または公共交通機関でお越しく下さい」なのですが。ただ、コミュニティセンターといえども、134自治会が入っており、サークルのメンバーさんは「西区の坂井輪内の人だけです」と限定もしていませんので、遠くは北区、東区、西蒲区からも入っている方がいますので、どうしても車で来所が多いのが実情です。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会②)

要するに駐車場がすぐ満杯になるんです。いろいろな事業をやる時に、非常に利用者に迷惑をかけているわけです。その時は、管理人の方が目配りをして、向かいにある大きなお店にお願いして駐車場を利用させていただいたり、トラブルにならないよう目配りをしています。それを利用者団体の代表の皆様にも伝えて、「それぞれがちゃんとルールを守ってやってくださいね」と話をしています。駐車場に関する要望は種々出ていますが、なんとかそれで収まっています。

(坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会①)

私も以前、副会長だった時は、会議の時は徒歩で通っていました。しかし今、用事が立て込んで車で行かざるを得ないときは、向かいの大きいスーパーさんの駐車場を借りて運営会議に出席しているような状態です。駐車場がなかなか、根本的に難しいところです。

(司会)

そうしましたら、質問等はこれで終了とさせていただきます。

—坂井輪コミュニティセンター管理運営委員会 退室—

—西内野コミュニティ協議会 入室—

(司会)

続きまして、西内野コミュニティ協議会の方からの説明をお願いします。

(西内野コミュニティ協議会①)

私は西内野コミュニティ協議会 会長を務めています。また、内野上新町自治会の会長も務めています。内野上新町という古くからの土地です。この西内野地域の変化を長い目で見て

きた者として、また更に良い地域になるように、長くではありませんが、13～4年でしょうか、微力ではありますが活動しています。

さて、西内野コミュニティ協議会は西内野小学校区、10の自治会・町内会があり、現在は3,763世帯。古くからある内野上新町や、39年の新潟地震後以降に増設された地域、内野西が丘駅の開業に伴い新しい団地ができたりと、高齢化は否めないもののバランスよく各世帯が生活をしています。この地域には、西区で唯一公立の西幼稚園、西内野小学校、新潟西高等学校、近くには新潟大学や新潟情報大学など、文教的な雰囲気もありつつ、水田や畑、また海岸もあり、自然豊かな環境といえると思います。そのような環境に地域が誘致して、西コミュニティセンターが平成5年にオープンいたしました。西内野コミュニティ協議会が指定管理者になってからは、西内野まちづくりセンターの看板を掲げ、単に貸館だけでなく、地域づくりの拠点としての場所になっています。

以前は地域全体の行事だった盆踊り、また餅つき大会もコロナ禍をきっかけにできなくなりました。代わりに西コミセンを本部とし、隣の西内野小学校を観覧場所にした西内野花火大会を開催しています。今年で4年になり、地域住民の楽しみの一つになっていると感じています。開催にあたっては、打ち上げ場所の地主さん、農家の耕作者、それから自治会が一つになって運営しています。学校も非常に協力していただいています。加えて、コロナ禍で何事も「自粛」だった中で、花火大会といえども、非常に短い時間ですが、住民にとってはかなりのインパクトがあったなと好感触を得ています。

また、誰もが出品できるアンデパンダン展もコミセンを拠点に開催してきました。コミセン利用者だけでなく、地域の方の出品、校区の園や学校からも子供たちの作品を展示しています。中学校の運動会が、コロナ禍で保護者が観覧できなかった時は、生徒が作った応援旗を展示して、間近で生で見てもらい好評でした。

コミセンの運営にあたっては、利用者の利便性を考えて、向かいの土地を駐車場として利用料金会計からの支出で借用しています。コミセン全部で42台駐車できますが、時には満車になるほどです。当然、利用者さんの利用料金の中から支払っていますけれども、やはり駐車場をお借りするのはかなり負担になっているかなと思います。金額は申し上げますが、それだけはお伝えしておきます。それから、利用者の向上に向けて年度に1度、一括利用団体の募集をしています。1年間定期的に利用できる制度もあります。半年後に追加募集もかけ、利用の促進を図っています。

利用者のアンケートも年に1度実施し、誰でも利用できるフリースペースを設置したり、スポーツミラーや卓球台など要望に応じた備品も設置いたしました。フリースペースには勉強する生徒や会話を楽しむ地域住民の姿が見えます。それだけでも効果はあったかなと。机、椅子、それからWi-Fiも整備し、やはり若い方、それから高齢者もそこでお茶を飲んだり、団らんという形で利用していく姿、最近では目に見えて増えています。

地域の高齢化に伴い、和室の机を軽量化したものに入れ替えたり、椅子も設置、掃除機はキャニスターからコードレスに入れ替えたりと、より利用しやすい工夫をしています。

安全面については、元消防士が管理人に避難訓練を指導したり、コミセンでは地域住民向けに防災訓練を行って、いざという時のためスキルアップを図っています。来月11月3日は自主避難訓練の日です。また地域の皆さんに、老いも若きも集まっていただき、防災の大切さを学ぶ機会となっています。それから、コミセンは避難所にも指定されているので、コミ協で備蓄品や災害の時に役立つものを購入して、コミセンに置いてあります。例えば、発電機や無線局、無線機もあり、通電しなくても連携や連絡が取れるようにしてあります。そのような備品は花火大会でも使用しながら、みんなが操作できるように活用しています。

小学校の公共施設見学や中学生の職場体験などは積極的に受け入れて、教育に協力するとともに、若い世代に親しんでもらえる館になればと考えています。

如何せん、地域づくりは地域住民が行っています。そのような団体が指定管理者として、法的な根拠の下、館を運営していくのはなかなか大変です。それでも、地域の大事な公的な館として、地域づくり、また貸館としての機能を向上させられるよう、みんなで力を合わせて少しずつできることから手を付けていきたいと考えています。以上でございます。

(司会)

ただいまの説明に対し、ご質問等ございましたらお願いします。

(中村委員)

センターの管理人さんは、地元からの採用でしょうか、それとも地域からの採用となっていますでしょうか。

(西内野コミュニティ協議会②)

西内野コミュニティ協議会のエリアからは、お願いを回覧板で募集をかけて、男性が今4名、女性が2名という体制でいます。以前は、内野や赤塚、中野小屋と一緒に館でしたが、今はそれぞれが持っていて、西内野コミュニティ協議会の中での促進と、働き方というところもあるので、コミ協の中の住民に募集をかけ、今働いていただいています。

(中村委員)

年休などは上手に取れていらっしゃいますか。

(西内野コミュニティ協議会②)

有給休暇は今、もう6名体制なので、上手くいっていると思います。少ないとなかなか代理の方がいなかったり、管理人さんが足りなくて空白になってしまうと、どうしても希望の日が取れなかったりするのですが、そこを見越して今6名体制なので、滞りなく取っていただいています。

(司会)

他にございますか。

(根本委員)

今の質問に関連するような質問なのですが、だいたい時給はどのくらいで組んでいるのですか。

(西内野コミュニティ協議会②)

時給は、今年度は1,050円です。

(根本委員)

決められた報償費の中から、人数で除して計算するようなやり方ですか。

(西内野コミュニティ協議会②)

そうです。

(根本委員)

人数が増えると低くなりませんか。

(西内野コミュニティ協議会②)

ただ、人数は増えても勤務する時間数は変わらないので。

(西内野コミュニティ協議会③)

勤務時間を3交代で割り振っていますが、相対的な時間数は変わらないので。

(司会)

他にいかがでしょうか。

(乙川委員)

様々な年代の方々が地域にお住いと思いますが、年代別のコミセン利用率などを教えていただきたいです。

(西内野コミュニティ協議会②)

利用率で言いますと、部屋ごとになってしまうのですが、平均すると49%、約半分の利用率になっています。年代的には、一括利用団体さんは割と両極端で、高齢の方々と、あと逆に空手とか体操などの子供たち向けのサークルさんもあります。すみません、ちょっと年代的な資料がないです。申し訳ないです。

(乙川委員)

いろんな年代の方々が利用されているということですね。

(西内野コミュニティ協議会③)

そうですね、多いところで80%くらいです。ただ、調理室なんかはどうしても機会が少ないので。

(乙川委員)

もう一点よろしいでしょうか。雇用や安全確保、災害時、または個人情報やワーク・ライフ・バランス、ハラスメントに関わることで、意見交換はされてるものと思いますが、具体的な取組や研修などを行っていましたら教えてください。

(西内野コミュニティ協議会②)

日々、担当の中村副会長の方で、いろいろな雑談といいますか、日々そういった声は拾っています。一昨年、社労士さんに入っていただき、規約もきちんとし、ハラスメントに対しての向き合い方とか、私たちも改めてそれに準じて守っていこう、そして向こうからも相談しやすい空気にしようというのは決めました。

(乙川委員)

災害対策とか、とても細かく対応を考えられているなどお見受けしたのですが、例えば、利用者さんがノロなどで吐いてしまった時に「嘔吐対応」というのが書かれています。こうしたマニュアルに書かれているものをピックアップして誰でもできるようにしようといったこともされているのでしょうか。

(西内野コミュニティ協議会②)

はい。1年に1度、元消防士の方がコミュニティ協議会の防災・防犯部長なので、研修をしています。例えば、廊下にあるホースの消火の時の使い方とか、災害といいますか日頃の対策をしています。

(中村委員)

コロナを境に皆さんが集まるのが難しくなった頃に、会議の形式などを変えたところがありましたでしょうか。割と皆さん集まって会議をされていたのでしょうか。

(西内野コミュニティ協議会②)

大きな変化はなかったです。

(中村委員)

例えば、Zoomでの会議などはされていましたか。

(西内野コミュニティ協議会②)

Zoomで会議ができるような環境もなく、電子機器に慣れている世代の方でもなくて、そういう方法にはなりません。書面総会はコミュニティ協議会でしていましたが、あとは利用者団体さんから「コロナだからZoomで何かしたい」といった要望もなかった。やはりリアルに対面するまで待っていただきましたし、対面になったときも、だいたひ気を付けて消毒液や張り紙、換気など注意いただきながら、だんだんと復活して、ようやく利用者数が増えてきたかなというところです。

(西内野コミュニティ協議会①)

どうしても自粛という域から抜けられないところもあって、逆に我々が「これはダメあれはダメ」という形で言ってしまうと際限がなくなる可能性があるので、どうしても自粛の域を出られない、またそれも認めざるを得ないという感じでした。今思えば、多少の変化はあっても、そんなに大きな変化はなかったように感じます。

(西内野コミュニティ協議会②)

やはりまちづくりセンターという看板を掲げている以上、そこが地域づくりの拠点だと考えているので、リアルに集まったり関わったりしていただくことは、私たちとても大事にしているので。そこに関しては積極的に宣伝というか、推進していきたいなと思っています。

(司会)

ご質問は以上でよろしいでしょうか。それでは、プレゼンテーション及び質疑応答を終了します。

—西内野コミュニティ協議会 退室—

—青山小学校区コミュニティ協議会 入室—

(司会)

続きまして、青山小学校区コミュニティ協議会からのプレゼンテーション及び質疑応答を始めます。

(青山小学校区コミュニティ協議会①)

青山小学校区コミュニティ協議会でございます。今日は私と事務局長、管理人2人の4人で伺いました。いろいろな視点でお話しできたらと思います。

私どものコミハウスは青山地域のほぼ中央に位置しまして、産業道路に面し、また有明線のバス停が目前にあり、大変便利などころにあると思います。

青山地域は約3,200世帯、人口は7,000人くらいで、20の自治会・町内会で支え合っています。昨年、コミ協の組織を改編し、福祉部、環境安全部、文化スポーツ部、防災部という4つの部を立ち上げまして、力のある若い世代の方が役員に入ってくれて、大変活動が活発になってきていると思います。また、その動きの中から、各種の会議とか行事など、新しい企画がどんどん出ていまして、コミハウスの利用がさらに伸びていくのではないかと考えています。また、ここにもおります能力の高い4人の管理人が優れたチームワークで業務にあたり、利用者の評価も高くいただいています。地域の重要な拠点として、私ども大切にしていきたいと思っています。以上でございます。

(青山小学校区コミュニティ協議会②)

それでは、青山コミュニティハウス事業計画書に従って説明いたします。

まず、団体概要・基本方針ですが、団体概要として、青山小学校区コミュニティ協議会は、青山小学校区の自治会・町内会及び関係諸団体等から選出された代表者により構成され、民主的に運営されている団体です。協議会は、事務所を新潟市青山コミュニティハウス内に置きます。協議会は、会員が互いに連携・協力し、区自治協議会への参画、行政との協働などにより、活力ある地域社会の構築を図ることを目的とします。目的達成のため、次の活動を行う。(1) 地域防災、防犯に関する事項。(2) 青少年の健全育成に関する事項。(3) 地域交通安全に関する事項。(4) 福祉全般に関する事項。(5) 文化・スポーツ振興、健康増進に関する事項。(6) 生活環境の保全に関する事項。(7) 情報の共有を深める啓発活動に関する事項。(8) ハウスの維持管理及び運営に関する事項。(9) その他、本会の目的を達成に必要な事項、です。役員構成は、別紙「役員名簿」のとおりとし、役員の任期は協議会会則に従います。協議会の事業及び運営に係る経費は、新潟市からの指定管理料、施設の利用料金及びその他の収入をもって充てます。

基本方針として、青山小学校区内の連帯感と住民の健康増進に努め、コミュニティ活動の発展・振興を図る。ハウスの利用者が施設を等しく利用できるように努める。ハウスの有効利用と経費削減を図る。ハウスを事業計画に沿って適正に管理し、地域との交流促進を図る。

次に、施設管理業務として、新潟市青山コミュニティハウスの利用に関する業務の基準に基づき、施設管理を行うものとします。利用の許可に関する日常業務として、(1) 受付業務、(2) 利用者サービス、(3) 許可・退去命令に関する業務、(4) 管理・集計業務、(5) 利用者のトラブルに関して、公平な立場での対応。(6) 個人情報の保護、守秘義務の徹底した業務を遂行します。

月間業務については、(1) 予算執行状況を取りまとめ、西区地域課へ報告を行う。(2) 利用の許可及び利用状況を取りまとめ、西区地域課へ報告を行う。

年間業務としては、(1) 次年度の年次事業計画書と収支予算書を作成し総会で承認を得る。(2) 協定期間終了後、速やかに収支決算書・事業報告書を作成し、西区地域課へ報告するとともに、指定管理料の過不足が生じた場合は適正に精算を行うものとします。ほかに、(3) 定期的に職員研修を行い、接遇マナーの向上に努め、(4) 管理運営会議を年6回開催し、より良い管理運営体制の構築を図ります。(5) 問題が生じた場合は、適宜管理運営会議を開催し、問題の早期解決に努めるものとします。(6) 休館日又は開館時間を変更する場合は、あらかじめ市長の承認を受け、(7) 利用料金、利用料金の免除、利用料金の還付は、あらかじめ市長の承認を受けるものとします。(8) その他、施設の管理運営上、市長が必要と認めた業務について行います。

ハウスの施設・設備の維持管理に関する業務としては、1 施設等の維持管理、2 保守点検業務、3 防災・危機管理に関する業務、4 指定避難所・指定緊急避難所に関する業務、5 報告業務です。

経費節減として、施設の管理運営が公費で賄われていることを十分に認識し、次のことに留意しながら経費の削減に努めます。（１）節水や必要のない箇所の電灯は消灯するなど、経費の削減に努める。（２）空調の温度管理を適切に行い、経費の削減に努める。（３）裏紙の再利用など消耗品の消費を抑え、経費の削減に努める。（４）管理職員の技量で実施できる分野は外注せず、内作に努める。

自主事業計画として、青山小学校区内のコミュニティ活動を活性化し、地域住民の連帯感を高め、住みよい地域社会づくりを推進するため、下記の事業を実施する。（１）日々研鑽した成果を発表するため、文化祭を実施します。（２）地域と連帯のため、広報紙を年３回発行します。サービス向上に向けた取組、要望・苦情への対応についても適宜行ってまいります。

利用料金は、部屋の大きさ等を考慮して、５つある部屋を５００円の部屋と１,０００円の部屋で対応します。安全確保・災害時の対応を行い、環境保護の取組も行います。

地域貢献活動として、協議会は、青山小学校、青山小学校区内の地域活動に協力し、（１）青山小学校児童の仕事体験を受け入れ。（２）月曜日の開館、及び高齢者を主な対象に無稼働の部屋を利用開放するなどの活動をします。（３）自治会・町内会など地域コミュニティの優先を利用し、（４）まちづくりセンターとして地域課題を解決する目的とします。

地域経済振興及び雇用確保の取組、従事者の雇用・労働条件についても取り組んでまいります。従事者の雇用・労働条件としては、管理人４名が早番・中番・遅番でローテーション、これを月曜日から木曜日、金曜日から日曜日は２名が交替で勤務し２名が休む体制とします。

以上を持ちまして、事業計画の説明といたします。

（司会）

それでは、ご質問等ございましたらご発言をお願いします。

（中村委員）

近くをよく通るので、資料の方にも書かれている通り、外構の植栽の剪定・除草などがいつもきれいにされていて、車の誘導などもきちんとされていて、整然といつも使われている印象があります。皆様のご尽力の賜物だと思っています。

一つ、どうしても伺いたかったのですが、月曜日の開館、そして無稼働の部屋を、高齢者を対象に開放するという取組を始めたのはどうしてなのか、どのような利用をされているのかというあたりを教えてください。

(青山小学校区コミュニティ協議会③)

最初の公民館の時から、地元で密着した展開をという要望が強く、月曜日も利用したいという利用者の声から、月曜開館が続いていると聞いています。それから、他では月曜が休みなので、逆に今となっては「月曜に開いているから使いたい」という声もあります。月曜日の利用率もそんなに下がっていない状況なので、続けていきたいと考えています。

(中村委員)

利用者の方が主にどういった活動をされているか分かりますか。

(青山小学校区コミュニティ協議会③)

通常の利用と、それからやはり高齢の地元の方が体を動かしたり、ダンスでリズムに乗って体を動かしたり、あとは卓球など、そんなところが多いです。

(中村委員)

幼児や小さいお子さん、就学前のお子さんを対象とした活動など、若い世代の方々の活用はいかがでしょうか。

(青山小学校区コミュニティ協議会④)

コミ協の活動として、部屋が空いているときにお子さんに参加してもらうような会、行事はありますが、サークルとしては今のところそういう小さいお子さん向けのものはございません。

(司会)

他にご質問等ありましたらお願いします。

(乙川委員)

5番の「サービス向上に向けた取組」のところで、月1回の内部研修を行っているに記載されていますが、月1回の内部研修となると、年間を通してとても素晴らしい研修が行われているのではないかと思います。具体的な研修内容をお聞かせいただきたいです。

それに併せて、月曜も開館ということで、ローテーションを組まれているので、全員が集まることができるのかという点もお伺いしたいです。

(青山小学校区コミュニティ協議会③)

逆に、月1回皆で集まる日にちを作っています。25日朝、給料を渡すときに立ち寄ってもらい、そこでいろんな情報交換したり研修をしたりしています。おっしゃる通り、その他の時間は皆ローテーションなものですから、なかなか集まることができないので、必ず月1回、25日、25日が土曜日曜の時は前倒しで取り組むようにしています。

(乙川委員)

具体的な形としてはどんなものでしょうか。

(青山小学校区コミュニティ協議会③)

利用者からの声だとか、中で修繕の検討会だとか、あと行事の検討だとか、あと色々な個人情報だとか諸々、そういうものをお互いに研修で話し合ったり、またマニュアルを出してきて確認をしたりしています。

(乙川委員)

皆さんで意思疎通をされながら、実施できているということがとてもよく分かりました。

(司会)

他にご質問等ございましたらお願いします。

(根本委員)

6番の「要望・苦情への対応」の(2)のところで、「利用者懇談会を年1回実施する」とありますが、この実施事例はございますか。また、どういった方が来られるのでしょうか。

(青山小学校区コミュニティ協議会④)

サークルの3分の1ぐらいの方が来られます。まず、日程調整ために部屋を使ってない日を設定するのですが、割と日曜日が多いので、出てこられる方と来られない方がいらっしゃいます。ですが、とりあえずは日曜日に3分の1ぐらいの方が来られて、AEDの研修をしたり、皆さんで「うちのサークルはこうだ」という交流を兼ねての懇談会といいますか。その時に、管理人への要望等もお聞きして対応するようにしています。以上です。

(青山小学校区コミュニティ協議会①)

ちょっと捕捉しますが、利用団体がだいたい47ぐらいあり、そのうちの3分の1だと、15～16の団体の代表が来てくれると。そこで、いろんなサークルの活動・利用状況についてみんなで話し合う、そんなやり方です。そこには、管理人の他に、私ども役員が出まして、一緒に懇親をするということです。それから、いろいろ出た意見はできるだけ時間を置かず解決しようという整理があるので、その中で改善しているものもあると思います。

(中村委員)

改善したことに関して、改めて広報みたいな形はされていますか。

(青山小学校区コミュニティ協議会④)

例えば、鏡が取り付けられたとか、そういうことはコミ協の広報紙で記事にしています。

(乙川委員)

もう1点だけすみません。先ほどの会長さんの方から、若い方も役員になっていただいたということで、会議等もされていると思います。会議に参加しやすい、話しやすい時間帯や曜日、環境ですね、そういったものの変化や工夫はありましたでしょうか。

(青山小学校区コミュニティ協議会①)

やっぱり、若い人の時間にお年寄りが合わせるということで今やっています。できるだけ。

(乙川委員)

具体的にはどのぐらいの時間帯でしょうか。

(青山小学校区コミュニティ協議会①)

若い方々は働いていますから、夜あるいは土日とか、そっちの時間帯にかかってきているかなと思います。役員名簿も差し上げていますが、年齢は書いていませんが、役職名について「副部長」を部長がつけてもいいという風にしたら、自分の気に入ったものをどんどん入れてもらえるので、今のところはそんな恰好で。良い状況は回っているかなと思います。

(青山小学校区コミュニティ協議会③)

やはり合わせるというのが一番ですので、場合によっては夜になることもたまにはあります。やはり土日とかが多くなりますね。やっぱりできるだけ大勢の方に出ていただいて、声を聞かせていただきたいので、できるだけ合わせるような形をとっています。ただ、やっぱりこれも壁があったりして、なかなか参加者数が増やせない部分もありますけれども、ある程度は効果があるのかなと思っています。

(司会)

以上で、プレゼンテーション及び質疑応答の方、終了させていただきます。

—青山小学校区コミュニティ協議会 退室—

—五十嵐小学校区コミュニティ協議会 入室—

(司会)

続きまして、五十嵐小学校区コミュニティ協議会のプレゼンテーションと質疑応答の時間を始めたいと思います。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

当コミ協は、五十嵐小学校区の22自治会、5,240世帯で構成され、海岸線に沿って比較的面積の広いエリアになります。「明るく健康的で安心安全なみんなの住みたい街」となることを大目標にして活動しています。その拠点となっているのが五十嵐コミハウスという位置づけです。

施設管理業務や経費の節減等については、評価の基準がたくさんあるのですが、だいたい事業計画書の方を読んでいただければお分かりかと思うので、ここでは私の方で説明差し上げたいことに絞ってお話します。

自主事業計画のところで、地域への福祉活動の場としてコミハウスを有効に活用しているというのが、これも一つの特色になるのかと思います。コミ協の福祉部会によって、去年はACP勉強会として「自分たちの納得のいく終末医療」について考える勉強会。それから、

先週の27日にも「もしもの時の対応について その時どうする」というテーマで、両方とも新潟市の市民講座を利用し、信楽園病院の協力を得て、こういう講座をやることができました。また6月には、悩んでる住民が多いということで、薬に関するテーマで、新潟県薬剤師協会の協力を得て、「睡眠薬と便秘の薬の話」の講演会を実施して、これも大変喜ばれました。題が題なのでどうかなと思いましたが、やはり困ってる方が多いようで、たくさんおいでいただきました。それぞれ30～50人の住民参加があつて、これはやっぱり住民の交流にも役立ったのではないかと自負しています。

よく、住民交流の観点や教室の発表の場として文化祭を開いているところが多いかと思います。当コミハウスも、かつては文化祭をやっていました。ただやはり、これは実行委員会を作って運営しますけれども、なかなか手がない。また、教室の高齢者が増えているということで。数年前に利用者にアンケートを取りましたら、やりたいという教室はほとんどなくて。そこには高齢化と駐車場がないということもあるかもしれませんけども、そこまでやりたいという方がないのであればと取り止めて、先ほど申し上げたような講座とかを利用して住民の交流を図っていると。また、西区の健康福祉課がやっている「誰でもどこでも健康教室」、こういうものも利用し、利用者にも声をかけて交流を図っています。

現在、定期利用団体は43で、高齢化とコロナの影響もあり、何より駐車場も確保できないということもあるんでしょう、以前より減っています。それでも、月に1,000人以上の利用者はあります。また、私どもの地域はどうしても坂井輪地区公民館と競合することが多いので、あそこは利用料がかかりませんので、どうしても不利だということもございます。ただ、そこで少しでも利用率を上げるために、空いている教室の場合は前日当日の申し込みについては利用料金を半額にするよう工夫し、これは思ったより利用する方が多いということです。

それから、先ほどから申し上げている駐車場確保は課題ですけれども、これはもう新潟市の補助はありません。だから自前でやらなければいけないのですが、広い駐車場を確保しようとすると費用が高額になってしまいます。今、利用料金会計が年間100万ちょっと、110万ぐらいです。この中から駐車場で月間5万円ぐらい取られてしまうと、なかなか成り立たない事情がございます。ただ、幸いといいますか、すぐ近くにスーパーウオロクさんができ、この店長さんをお願いして置かせておくような形で。ただ、置いた方はぜひ帰りに買い物してくださいといったことをお願いしている関係か、ウオロクさんからの苦情は一切ない状況です。

利用者からの要望や苦情への対応ですけど、意見箱の設置をしていますし、何より私どもが力を入れているのは、管理者と利用者との信頼関係です。ですから、教室が終われば終了時には管理人と顔を合わせるわけで、その時に苦情があれば聞き取っていただくように、そういう関係を築けるように管理人にも指導しています。幸い、ほとんど苦情はありません。

それから、先日も五十嵐小学校の2年生8名が施設見学に来てくれて、その際、ヨガや体操教室、フラワーアレンジメントの教室をやっていましたが、どの教室も気持ちよく「どうぞどうぞ」と。ヨガなんかは「一緒にやりましょう」と。このように受け入れていただけるのも、日頃から管理人と教室の主催者との対応が上手くいっているからであろうと思いました。このように、地元の小学生との関わりも社会貢献の一環として積極的に受け入れています。当コミハウスでは「風船クラブ」、これも福祉部会の主管ですが、毎週火曜日、西区の「親子の居場所事業補助金」も活用して行っています。これは生まれて数か月から2歳くらいまでの赤ちゃん、乳幼児とその母親に居場所を提供しています。私どもの地区は教員OBが多いので、毎回10人くらいボランティアが集まるんです。そうすると、かえって赤ちゃんよりもボランティアの方が多くくらいで。その間、親は育児から解放される、これがすごくいいみたいで、利用者は年々増えてきています。そこに、小学5年生が見学に来て赤ちゃんをあやして、ということもございます。また、学校で地域の歴史について学びたいとか、防災訓練をやりたいなんて時には必ず、コミ協の方から講師が行って指導する。そういう関係もできています。「フードバンクにし」もできまして、カゴを置いて、月2回は回収しないといけないくらいの量が来ています。

ワーク・ライフ・バランスですけども、うちは男性1名女性2名の交代勤務体制です。賃金水準についても、最低賃金改定を受け、先月から自給を1,100円に改定しました。

五十嵐コミハウスは出来てから23年です。訪れた方からは「内部がきれいで、とても20年以上経っているとは思えない」という感想をだいたいいただきます。予算の関係で、外部委託の清掃も切り詰めざるを得ないですが、管理人が丁寧な清掃を行ってくれているからだ感謝しています。

そのほか、防災ですね。去年の能登半島地震、コミハウスは避難場所になっているので、その際私も駆け付けましたが、4時45分ごろに行ったら100人ぐらいの住民が来ていました。幸い、電気・水道は止まりませんでしたし、何よりもテレビで被害状況を確認できたのが良かったと思います。また、何も持たないで来る人がほとんどだったと思いますが、備蓄のペットボトルを出して喜ばれました。また、授乳したいという方には2階をご案内して喜ばれました。こういうのは、日頃から自治会がたくさんコミハを使ってくれていて、顔見知りにも私どもがなっていることが、住民にとって大きかったのだと思います。

最後に、エピソード1つ申し上げます。先日、コミハウスに80代のおばあちゃんが困った様子で来まして、事情を聞くと、督促状にも気が付かなかったのか電気止められてしまったと。ようやく督促状を見つけてお金払ったけど、東北電力への電話の仕方が分からないと。つまり、電話するとガイダンスに従ってボタンを押していかないといけないが、これに結局戸惑ってしまって。こちらの方で対応し、東北電力とも話して、その後通電したようです。

こういう形で、コミハウスは地域に根差した形で、「あそこに行けば何とかなるんじゃないか」という地位にあるのかなと。困りましたけれども、嬉しくもありました。

施設の老朽化はなかなか大変です。うちだけでも昨年、修繕費40万ほどかかりました。これからますます修繕費が掛かってくるので、地域課さんのご協力を得ながらですけど。何とか役員・管理人はみんな意思疎通を十分に図れていますので。利用者さんが気持ちよく過ごせる施設を目指して、知恵を出し合って、これから進んでいきたいと思います。

(司会)

そうしましたら、質疑の方に入りたいと思います。

(乙川委員)

地域住民のニーズ、声を伺った上で、なり手もないため文化祭をお止めになる決断をされたこと、外部の講座などをとても上手に利用されていること、運営の方法も勉強になるお話を聞かせていただきました。ありがとうございます。

利用料金についてですが、前日・当日空いていたら半額にするというのは、いつからそういう取組をされているのかということが1点と、その周知方法としてはどのような形でされているか。

併せて、利用取消しは基本的に5日前までにとなっています。受付方法も窓口や電話、メール、ファックスなど色々あると思いますし、事前に申請書をいただってお金を収めてもらっている状態でこれが発生すると思いますが、実情はどんな感じになっているのかをお聞かせいただきたいです。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

利用料金を半額にする制度は、利用率を上げたいということで、今私が事務局長3年目で、その2年ぐらい前、つまり今から5年ぐらい前に始まったと思います。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会②)

周知方法ですけども、ハウスの入り口に利用料金一覧と合わせて「前日・当日は半額になります」、「半額の場合はこういう扱いになります」という掲示をしてありますので、だいたい皆さんが入って来られる時に目に入る場所にずっと貼ってあります。入る時と出る時、両方見えるようにしてますので、その辺は無視されないようにしています。

また、取消しの場合は、要は5日前までであれば利用料を全額お返ししますが、利用者さん長く使っていらっしゃる方がいっぱいいらっしゃいますし、必ず新規の方は受付する際にそのことも必ずお話しさせていただくので、取消しに関してのトラブルはほとんどないです。結構、月2〜3件ぐらいはありますけれども、それに伴ってのトラブルはないです。領収書も全部しっかりと発行しているので、利用受付の時に手間がかかりますが、記録を全部残してお互

いに分かるようにしてあります。取消しに関して、金銭でどうしたこうしたとなることはほとんどないです。

(司会)

他にご質問等ございましたらお願いいたします。

(根本委員)

すみません、収支計画書のところで質問があるのですが、事務費のところの食糧費とは、何か講座を開いた時に支出されるものですか。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

それは、会議関係のお茶とかそういうものが食糧費に対応しています。食糧費という名前はどうかというのがありますが、ずっと慣例的にきているものです。そんなものが食糧費になってきです。

(根本委員)

去年の実績はどのくらいだったのですか。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

去年は、コミュニティハウス自体は、コミ協で使っている食糧費がここに掲載されていますが、これはもう会議費関係ですね、去年は3万5千円ほどです。

(根本委員)

関連して、去年の修繕費の実績はどのくらいでしたか。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

去年はだいぶ修繕に力を入れて、去年は修繕費が39万9,300円。具体的には、ブラインドの取り換えで15万円、エレベーターの各種バッテリー交換が12万円、それから水栓、自動栓、あれで何万でしたかね。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会②)

手洗いの水栓が結構高くて、3万くらい取られていると思いますけど、まだまだこれから取られますと業者さんは言っていました。一か所、ガスがかかるのでいい金額になりました。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

もう、修繕費がやはりちょっと頼むと高いですね。だからこれから頭痛いです。

(中村委員)

こちらの団体の基本方針の中に、地域住民の意見徴収に関することや、地域の現状の調査に関することで、現状把握に非常に重点を置きながら、それを生かした形で運営をされている点が大変優れている印象を受けました。この現状調査を行うのは、皆様がされるということではよろしかったでしょうか。

(五十嵐小学校区コミュニティ協議会①)

私ども奇数月にコミュニティ協議会の理事会を開いています。第3土曜日ですね、22自治会長がメンバーになります。欠席はありますが、だいたい20近い自治会長が出席します。会議の必ず最後には情報交換の時間をこちらから入れます。「俺たちの自治会は今こういうことに困っている」とか、「他の自治会はどうしてる？」と、お互いに知恵を出し合って。今、自治会長の任期が非常に短いところが多いです。1年とかひどいところだと半年です。そうなったときに、私も12年会長をしていましたが、長い目でやっている自治会長が「こういう風にやったらどうだ」とアドバイスをすると。これは喜ばれていますね。

結局、新任の自治会長さんはほんとになかなか大変です。だから、そんなことの役にもコミハウスは十分活用されているのではと、住民に頼られる施設になっているのではと、手前味噌ですが自負していきたいです。

(司会)

以上で、プレゼンテーションと質疑応答の時間を終わらせていただきます。

—五十嵐小学校区コミュニティ協議会 退室—

(3) 申請者評価【非公開】

各委員より申請者に対し、評価項目ごとに評価をいただいた。その結果、各委員より申請者の全評価項目及び総合評価において「適」の評価をいただいた。